

(国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況)

国際都市像1 世界を魅了し、多種多様な人々が集まるまち

局区	担当課	事業名	令和6年度取組状況				その他関連する国際都市像	備考	
			実施時期	概要	新規・充実・継続	R6年度予算額(千円)			
総合企画局	国際交流・共生推進室	京都・西安友好都市提携50周年記念事業	通年	西安市との友好都市提携50周年を記念し、京都市及び西安市において、様々な記念事業を実施した。 京都市内では、京都国際マンガミュージアムの協力のもと、中国にゆかりのある漫画や西安を紹介するパネルを通して、市民に西安市を知っていただく展示「マンガで学ぶ友好都市・西安」を実施するとともに、中国の伝統的な音楽や歴史文化などを体験できるイベント「西安デー～中国の春節を体感しよう～」を開催した。 また、西安市内では、京都市代表団の訪問に合わせて、京都の伝統産業の魅力を発信するイベント「西安京都フェア」や、京都の魅力を紹介し、京都・日本への留学や観光・就職等での来訪を促進するためのセミナー「ようこそ、京都へ！おこしやすセミナー」、さらには両市の青少年交流等の記念事業を実施した。	新規	9,368	2.3		
		世界歴史都市連盟事業	通年	令和6年11月12～14日に、スロベニアのリュブリャナ市において、第19回世界歴史都市会議及び2024年度世界歴史都市連盟総会・理事会を開催し、京都市から京都市長をはじめとする代表団を派遣した。 会議では、「持続可能な都市モビリティによる活気ある歩きやすい市街地づくり」をテーマに、基調講演や加盟都市による発表、専門家会議等が行われ、文化遺産の保護・持続可能な都市開発等に共に取り組むことを確認する「リュブリャナ宣言」が採択された。 そのほか、連盟事務局では、機関紙の発行や公式ウェブサイトによる情報発信等を行った。	継続	19,084	2		
		京都市国際交流・多文化共生審議会の開催	第1回：令和6年10月4日 第2回：令和7年2月14日	今年度第1回審議会では、今年度の国際交流・多文化共生関連事業の実施予定等について市から報告するとともに、今期(令和5年度～6年度)のテーマ(①国際交流に係るテーマ：「市民・民間主体の国際交流の裾野の拡大と担い手の育成」、②多文化共生に係るテーマ：「外国籍市民等の地域コミュニティへの参画と、多文化共生の担い手の育成」)に基づき、ゲストスピーカー2名による事例紹介などを踏まえ、委員に議論いただいた。第2回では、市から今年度事業の取組状況等を報告するとともに、今期テーマに基づく、市に対する提言案について議論いただく予定。	継続	249	2.3,4		
		国際会議や海外賓客の接遇時における京都の魅力発信	通年	京都・西安友好都市提携50周年記念事業や第19回世界歴史都市会議、各国・都市、企業等の代表者による本市訪問の機会を捉え、京都の魅力発信を積極的に行った。 (参考) 令和6年度国際的儀礼接遇件数(令和7年2月10日現在)：23件	継続	—			
		医療通訳派遣事業	通年	医療機関に対して通訳者を派遣することにより、外国籍市民等が安心して医療サービスを受け、安全に暮らすことができるよう、言葉を中心としたサポートを行っている。 ・令和6年度利用件数(令和6年12月末現在)：1,074件	継続	3,000	4		
		地域・多文化交流ネットワーク促進事業	通年	多文化共生を推進する団体や外国人コミュニティ等への活動場所の提供、関係団体間の連携促進、外国籍市民等支援や異文化理解に関する事業(日本語教室や東九条春まつり)を実施している。	継続	9,900	4		
		京都市外国籍市民総合相談窓口運営	通年	在留手続、雇用、医療、福祉、出産・子育て・子供の教育等の生活に係る適切な情報や相談場所に迅速に到達することができるよう、多言語による情報提供及び相談を行っている。 また、令和6年度から、本市ベトナム籍市民の増加に伴い、ベトナム語通訳相談者を新規雇用し、行政通訳相談体制を拡充するとともに、待滞面の課題から人員の確保が困難となっている英語・中国語の既存通訳相談者について、報酬水準を見直し、事業を安定的に運営する体制を確保した。 ・令和6年度相談件数(令和6年12月末現在)：7,438件	充実	9,165	4		
		災害時多言語電話通訳事業	通年	災害発生時、避難所の運営主体等が、日本語を話せない外国籍市民等が来られた際に対応できるよう、多言語対応した専用の電話回線により通訳可能な体制を整えている。(避難所等の開設期間中、24時間利用可能)	継続	460	4		
		総合政策室 留学生支援・大学連携推進担当	留学生スタディ京都ネットワーク	通年 (平成27年度～)	大学、日本語学校、専修学校、経済界、京都府とともに、海外から京都の大学等への留学を促進するための組織を設立し、海外や首都圏の日本語学校から留学生を獲得するためのプロモーションや、国内外からの相談・問合せへのワンストップ窓口の開設、さらに留学生の住環境整備や就業支援に関して、オール京都体制で推進していく。	継続	15,000		
			京都で学ぶ留学生の受入環境支援・体験交流促進事業	通年 (平成27年度～)	入学直後の留学生に行政手続きや生活ルールに係る情報提供等を行うとともに、京都市の文化施設の見学・体験等の機会を提供する。また、京都で学ぶ多様な学生が、京都ならではの文化芸術や伝統産業に少人数でじっくりと体験できる参加体験型プログラムを実施し、末永く京都ファンとして、京都への関心・愛着を持ってもらえるよう取り組む。	継続	3,000		
学生のプレミアム体験・交流事業	通年		京都の大学等で学ぶ学生(留学生を含む)を対象に、普段経験できない京都の多様で奥深い魅力を学ぶ“京都ならではの体験”イベントを実施する。 この体験を通じ、学生の京都への愛着・関心をより一層深めるだけでなく、大学等の垣根を越えた学生同士のつながりも強化し、卒業後も京都に定着してもらうなど、末永く京都と縁を持って活躍してもらえようとする。	充実	2,000				
人口戦略室 京都創生担当	海外に向けた「京都創生」の展開	通年	・MICEの機会を通じた取組の周知 ・海外経営者層等富裕層の入浴機会を捉えた直接営業 ・インバウンド客が利用する市内施設での取組の周知 ・Webサイト「Preserve Kyoto」の公開(R6.3) ・Preserve Kyoto Giftを通じた寄付受入の開始(R6.9) ・インバウンド層を主なターゲットとしたプロモーション ・デジタルノマド誘致に向けた研究	継続	2,500	2			
	グローバル都市WGの開催	通年	本市におけるグローバル都市実現に向けた「チャレンジ」や、各局で実施しているグローバルな繋がりを活用・連携・連動させ実施することで、その効果を最大限に発揮し、海外から人・企業・資金等呼び込むことができる都市を目指す。 ・デジタルノマド勉強会の開催(R6.11月)	継続	—	2			

(国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況)

国際都市像1 世界を魅了し、多種多様な人々が集まるまち

局区	担当課	事業名	令和6年度取組状況				その他関連する国際都市像	備考
			実施時期	概要	新規・充実・継続	R6年度予算額(千円)		
文化市民局	文化芸術企画課	東アジア文化都市交流事業	通年	日中韓文化大臣会合が国立京都国際会館で行われ、2025年・2026年の東アジア文化都市が選定された。また、日中韓文化大臣会合に付随した事業として、ローマシアター京都にて日中韓芸術祭が行われた。 創造都市ネットワーク日本・国際ネットワーク部会において、東アジア文化都市の取組について、都市間での情報共有を行った。	継続	—	2.3	
		京都国際舞台芸術祭 (KYOTO EXPERIMENT)	令和6年10月5日～10月27日	京都・日本そして世界の舞台芸術を紹介することを目的に、平成22年度から京都市内で開催している舞台芸術祭。 世界各地の「EXPERIMENT(エクスペリメント)=実験」的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を新しい形の対話でつなぐことを目指している。 次年度も世界各国からアーティストを招聘する。	継続	28,000	2.3.4	
		Discover Traditional Culture of KYOTO～京の伝統文化プランディング～	通年	伝統文化の価値を向上し、本市の魅力を向上させるため、伝統文化に対する潜在的ニーズを踏まえ、国内外から京都を訪れる観光客の目線で、ツアーの実施、多言語対応、音声ガイドの整備などを行い、また誘客に関するノウハウを文化関係者に共有することで持続可能な取組を目指す。	新規	10,000		
		京都芸術センター事業	通年	京都芸術センターは、京都における文化芸術の総合的な振興を目的として設置され、国内外の文化施設や文化芸術団体と連携した事業の実施や、外国の文化機関とのネットワーク強化に取り組む。また、多様な芸術に関する活動を支援し、芸術に関する情報を広く発信するとともに、国際文化交流・人的交流のハブとして、国内外のアーティストの滞在制作支援事業などを実施する。	継続	127,228	2.3.4	予算額は、京都芸術センターの運営に係る指定管理料。
		KYOTOGRAPHIE(京都国際写真祭)	令和6年4月13日～5月12日	京都を舞台とした国際的な写真祭「KYOTOGRAPHIE(京都国際写真祭)」を本市共催により開催(主催:一般社団法人KYOTOGRAPHIE)。京都の歴史的建築物などを会場(市内十数か所)とし、選りすぐりの国内外写真家による展覧会等を実施した。	継続	—	2	
		京都文学賞	通年 ※令和元年度～	京都を題材とする小説を募集・表彰することにより、京都における文学の更なる振興とともに、「文化都市・京都」の発信や京都の歴史と魅力の再認識、都市格の向上につなげる。 一般部門、中高生部門、海外部門の3部門を設け、国内外から作品を募集する。	継続	6,651		
		京都・文化ファンドレイジング戦略推進事業	通年 ※令和3年度～	京都の文化芸術を担うアーティスト等の活動を、個人・企業の寄付等を通じて社会全体で支え、持続可能な文化芸術の振興を図るArts Aid KYOTOの取組を継続するとともに、更なる支援の拡大・促進を図るため、高額所得者向けの寄付獲得の取組等を行っている。	継続	184,800		
		京都文学レジデンシー	10月 ※令和4年度～	国内外から招致した若手の作家、詩人、翻訳家が、京都に一定期間滞在し創作活動を行う場を提供する。講演会、朗読会等の参加による市長等との交流や、創作活動を通じて京都の魅力を発信する。 京都の複数の大学の教授等による実行委員会に本市も参画。 令和6年9月28日から10月27日まで第3回京都文学レジデンシーを開催。	継続	—		
		「カルチャープレナー」の創造活動促進事業	通年	カルチャープレナー(文化起業家)の評価軸や社会的インパクトの見える化を図るため、カルチャープレナーの実践事例のリサーチや情報発信、アワードを開催した。	継続	15,000		
		京都の若者が世界の多彩な才能と交流する仕組みづくり	通年	海外からクリエイティブな人材を京都に呼び込み、地域とつなげることによって、知的交流を促す仕組みをつくるためのモデル事業を実施した。 既存の取組をリサーチし、アーティスト・イン・レジデンスの実績のある施設等のネットワークを形成するとともに、ノウハウ等が不足して躊躇している施設等をネットワークによりサポートし、受け入れを促すためのミートアップ等を開催した。	新規	17,000	3.4	

(国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況)

国際都市像1 世界を魅了し、多種多様な人々が集まるまち

局区	担当課	事業名	令和6年度取組状況			その他関連する国際都市像	備考	
			実施時期	概要	新規・充実・継続			R6年度予算額(千円)
産業観光局	産業イノベーション推進室	中小企業海外展開支援事業	通年 (平成26年度～)	①中小企業の海外展開支援事業 ○ネットワーキングを活かして、ジェトロ京都を窓口とし、京都企業の海外展開や外資企業の誘致に関してワンストップの支援を実施。 ・相談件数(R6.12末時点):679件 ○地域企業に対する相談体制を強化することを目的として、オール京都で設置した海外ビジネスセンターにおいて、取組の事前相談から輸出手続、ビジネス化までの一貫した支援を実施。 ・相談件数(R6.12末時点):584件 ②貿易振興事業 貿易関連団体と貿易手続等の普及啓発を行うセミナーを実施。 ・貿易セミナー 令和7年2月19日(予定)	継続	11,700	2	
		京都スタートアップ・エコシステム推進プロジェクト	通年 (令和3年度～)	○京都のスタートアップ・エコシステム等を国内外のスタートアップや投資家等に発信するとともに、オール京都及び京阪神間の連携により、京都のスタートアップの技術・アイデアを発表できる場を定期的に創出し、資金調達や販路開拓等を支援 ・京都スタートアップ・エコシステムWEBサイトの充実 ・「IVS2024 KYOTO」へ実行委員会として参画し、令和6年7月4日～6日に「IVS2024 KYOTO」を開催 ○スタートアップの人財確保を支援するため、スタートアップと学生・留学生との交流の場を創出 ・留学生とスタートアップ・地域企業等との交流会 令和7年2月27日(予定) ○スタートアップビザ制度(国家戦略特別区域外国人創業活動促進事業)を活用し、留学生を含む外国人材による起業活動を支援 ・確認証明書発行件数 R6:7件 累計:33件(R6.12月末時点) ・窓口相談件数 R6:145件 累計:586件(R6.12月末時点)	充実	75,800		
		グローバル・ニッチ・トップ企業創出プロジェクト	通年 (令和5年度～)	市内中小企業が円滑に海外へ進出できるよう、①海外市場のニーズ調査②展示会出展③製品開発について、経費の一部を補助するとともに、コーディネータによる海外進出に向けた計画策定等の支援を実施。 ・申請件企業数:33件(製造21件、小売3件、卸売4件、サービス3件、その他2件) ・採択件数:17件	継続	26,200		
		万博を契機とした海外ビジネス交流促進・ネットワーク構築事業	通年 (令和5年度～)	大阪・関西万博を契機に、市内企業等のグローバルなビジネス展開や海外からの投資拡大を図るため、海外に向けて、ウェブサイト等で京都市の強みを発信するとともに、海外とコネクションを有する様々な関係機関とのネットワークを構築し、万博会期中に「パビリオン出展等を行う海外の企業や政府関係者等を主なターゲット」、インキュベーション施設、大学、市内企業等の現地視察やビジネスイベントなどを組み込んだ、テックカルチャーを実施。 ・令和6年6月にツアー企画提案・調整窓口を開設 ・大使館・領事館関係者等を対象としたファミトリップを2件実施	新規	11,700		
	クリエイティブ産業振興室	新たな京都ファン開拓事業(京都館プロジェクト)	通年	京都ファンを増やし、京都への誘客や京都の地場産業の振興などに繋げるため、ウェブサイトやYouTube等を活用し、観光情報や京都の伝統産業、文化などの魅力を国内外に発信している。	継続	14,000		
		伝統産業未来構築事業	通年	世界が誇る京都の伝統産業を持続可能な形で未来に継承していくため、他ジャンルとのコラボによる新商品開発や販路の開拓・拡大、後継者育成に係る事業に加えて、伝統産業品の海外展開に資する新たな取組を支援し、商品力及び販売力の強化につなげている。	継続	22,000		
		次世代クリエイター育成プロジェクト	通年	「京都国際マンガ・アニメ大賞」からリニューアルした「京都国際クリエイターズアワード」のさらなる発展とともに、「クリエイター創作活動支援制度」、「最新デジタル技術の活用による産業振興プロジェクト」の実施も併せて「次世代クリエイター育成プロジェクト」を継続して実施している。 本事業を通じ、国内外の優秀なクリエイターのさらなる獲得・育成を行うことで、クリエイティブ活動がより活発になるための場を醸成するとともに、クリエイターの作品発表の場などアウトプットできる環境を積極的に提供し、次世代のクリエイターが豊かに育つ好循環の形成に向け取り組んでいる。	継続	12,900		
	観光MICE推進室	持続可能なインバウンド観光促進事業	通年	外国人観光客が増加するなか、京都観光モラルや観光マナーの周知啓発、インバウンド受入環境の再整備やプロモーションの実施等に取り組み、地域経済の活性化を図るとともに、市民生活と調和した持続可能な観光を推進している。	継続	40,500		2
		サステナブルMICE都市形成事業	通年	脱炭素や地域貢献等に資する活動に対する補助制度において、SDGsに貢献するMICEの開催・誘致に取り組むとともに、MICE商談会の開催や出展を通じて、国際的なMICE誘致ネットワークの構築を図っている。	継続	25,000		2
		京都観光オフィシャルサイトの運営	通年	京都観光オフィシャルサイトを運用し、国内外の観光客に向けて、魅力的なコンテンツはもとより、京都観光モラル、入浴前からのマナー啓発、観光客の分散化、災害・防災行動情報など、京都観光に資する情報の発信を行っている。	継続	62,200		2
メディア等を通じた国内外向け情報発信等		通年	海外情報発信・収集拠点(全6箇所)(台北、シドニー、パリ、ロンドン、ロサンゼルス、ニューヨーク)を設置して海外市場に合わせたきめ細やかなプロモーションを実施するほか、映画・ドラマの撮影支援等の国内外のメディア支援を行うことにより、世界における京都のメディア露出の増加に努めている。	継続	35,116	2		
京都文化交流コンベンションビューロー補助金		通年	MICE京都ブランドの一層の磨き上げや競争力強化を図るため、積極的な誘致活動や、誘致・開催を支援する助成金・補助金制度の活用等を通じて、MICEの振興に繋げている。	継続	101,545	2		
京都市認定ガイド制度の運営		通年	外国人観光客へのサービスの向上と通訳ガイドの活躍の場を充実させるため、これまでに育成したガイドに対して、必要な知識や技術を学ぶ研修を実施している。また、外国人観光客が増加する中、ガイドの人数を一定確保するために、新規募集(第7期生)を行った。	継続	24,950	2		
観光立国・日本の拠点都市にふさわしい総合観光案内所運営費		通年	京都の玄関口である京都駅構内(京都駅ビル2階)において、「京総合観光案内所(京なび)」を府市協調により設置し、府内全域の観光・交通案内を多言語(日、英、中、韓の常時対応のほか、スタッフにより、フランス語、スペイン語、ドイツ語、タイ語も対応可能)で実施。	継続	63,819			

(国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況)

国際都市像1 世界を魅了し、多種多様な人々が集まるまち

局区	担当課	事業名	令和6年度取組状況				その他関連する国際都市像	備考
			実施時期	概要	新規・充実・継続	R6年度予算額(千円)		
		観光案内DX事業	通年	パソコンやスマートフォン等で利用可能な「京なびオンライン」サービス(対応言語:日、英、中(簡体、繁体)、韓)において、チャットボットによる質問対応や利用者のニーズに応じた観光プランの提案等による観光案内のほか、「よくある質問」サイト、「観光パンフレット・地図ダウンロード」サイト、「観光快適度マップ」、災害等の緊急情報の発信等を行っている。	継続	2,100		
		多様なエリアにおける魅力発信事業	通年 (海外向け専用ページ構築はR7.3を予定)	専用ウェブサイトにおける情報発信や、各エリアの特性に応じた観光コンテンツの作成・PR、民間事業者等によるエリア全体の観光振興に資する実証事業への支援を行っている。また、海外向け観光情報サイト「KYOTO CITY TRAVEL GUIDE」に各エリアの魅力を紹介する記事を投稿しており、今年度中に「とっておきの京都」専用ページを構築し、外国人観光客への情報発信を強化する。	新規	41,700	総事業費(41,700千円)の内の一部	
		市民生活と調和した持続可能な観光促進に向けた海外プロモーション強化事業	通年	市民生活と調和した持続可能な観光の実現に向けては、観光課題対策等の本市が政策として伝えたい情報をより一層効果的に発信する必要があるため、令和6年度に新たに設置した中国(上海)拠点を含め、7つの海外情報発信・収集拠点や海外有力メディア、海外インフルエンサーを通して、効果的な情報発信を行い、海外向け観光プロモーションの強化に取り組んでいる。	新規	41,800	2	
都市計画局	まち再生・創造推進室	海外の行政機関・教育機関からの視察受入、情報発信	通年	韓国(5団体、70名)、タイ(1団体、66名)、マレーシア(1団体、4名)、サウジアラビア(1団体、12名)、JICA(10名)を受け入れた。	継続	—		
上下水道局	水道部施設課	施設見学の受入れ	通年	外国人研修生等の受入については、要望内容に応じて検討を加え受入れを行っている。	継続	—		
	下水道部施設課	施設見学の受入れ	通年	外国人研修生等の受入については、要望内容に応じて検討を加え受入れを行っている。	継続	—		
教育委員会	生涯学習部 生涯学習推進担当	京都市内博物館ガイドブック「京都ミュージアム探訪」(日本語版及び英語版)の改訂版発行及びWeb配信	平成31年3月～	2019年の国際博物館会議(ICOM)京都大会や東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、平成25年に発行した京都市内博物館ガイドブック「京都ミュージアム探訪」(日本語版及び英語版)を、最新の情報へ更新し、より読みやすく、興味を引く内容とし、広く発信するため、平成31年3月に、書籍の改訂版を発行するとともに新たにwebサイトでの配信を開始した。WEBサイトでは施設情報の更新や新規ページの作成など充実を図った。	継続	161		
	生涯学習部 施設運営担当	多言語化パンフレット・リーフレット・音声ガイド	パンフレット:通年 リーフレット:令和3年度～ 音声ガイド:令和3年度～	京都市生涯学習総合センター(京都アスニー)にある古典の日記念 京都市平安京創生館において、来館者向けに作成した常設する平安京復元模型等の解説を掲載した英語・中国語・韓国語の案内パンフレットと、学校教育にも活用できるリーフレットを置き、リーフレットは学校にも配布。また引き続き常設展示の解説英語版案内板を設置するとともに、平安京復元模型の音声ガイドを運用。	継続	—	4	
	学校歴史博物館	多言語化音声ガイド・パンフレット・リーフレット	平成29年度～	「英語・韓国語・中国語・日本語の音声ガイド」と「英語・韓国語・中国語のパンフレット・リーフレット」を平成29年度に作成し、平成30年度から外国人観光客等に使用している。	継続	—		
	青少年科学センター	多言語通訳サービス	通年 (令和元年7月～)	入館時の改札業務において、外国人来館者に対し、翻訳機による英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語等48ヶ国語対応の通訳サービスやタブレット端末による通訳アプリを使用した対応を実施する。	継続	—		
		展示品名の多言語表記	通年	新しい展示品を導入する際には、日本語に加え、英語・中国語・韓国語で展示品名を表示する。	継続	—		

(国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況)

国際都市像2 海外都市との連携が強まり、国際社会に貢献するまち

局区	担当課	事業名	令和6年度取組状況				その他関連する国際都市像	備考
			実施時期	概要	新規・充実・継続	R6年度予算額(千円)		
総合企画局	国際交流・共生推進室	キーウ市・ウクライナ避難者支援	通年	キーウ市に対して、市民の皆様からの寄付金を活用して、支援物資(救急医療用品400セット、使い捨てカイロ約35万個)を提供した。 また、ウクライナから本市に避難されている方々に対して、引き続き、「ウクライナ・キーウ京都市民ぐるみ受入支援ネットワーク」において、各種相談対応を行うとともに、避難生活の長期化に伴い国及び日本財団の生活費支援が終了し生活困窮状態に陥る可能性のある避難者に対し、生活一時支援金(1世帯10万円、世帯員ごとに5万円)支給を新たに開始した。 *避難者数(令和7年1月24日時点) 84世帯93名	継続	1,850		
		京都市国際交流・多文化共生審議会の開催	第1回: 令和6年10月4日 第2回: 令和7年2月14日	今年度第1回審議会では、今年度の国際交流・多文化共生関連事業の実施予定等について市から報告するとともに、今期(令和5年度～6年度)のテーマ(①国際交流に係るテーマ「市民・民間主体の国際交流の裾野の拡大と担い手の育成」、②多文化共生に係るテーマ「外国籍市民等の地域コミュニティへの参画と、多文化共生の担い手の育成」)に基づき、ゲストスピーカー2名による事例紹介などを踏まえ、委員に議論いただいた。第2回では、市から今年度事業の取組状況等を報告するとともに、今期テーマに基づき、市に対する提言案について議論いただく予定。	継続	249	1.3,4	再掲
		ニュー・プランシユ KYOTO	令和6年9月28日～令和6年10月26日	日仏アーティストによる現代アートプログラムを市内31会場で約1箇月間にわたり実施した。14回目となる今年度は「Transmission(継承)」をテーマとし、期間中パブリックスペースも含めて約26万人が来場した。	継続	1,000		
		世界歴史都市連盟事業	通年	令和6年11月12～14日に、スロベニアのリュブリャナ市において、第19回世界歴史都市会議及び2024年度世界歴史都市連盟総会・理事会を開催し、京都市から京都市長をはじめとする代表団を派遣した。 会議では、「持続可能な都市モビリティによる活気ある歩きやすい市街地づくり」をテーマに、基調講演や加盟都市による発表、専門家会議等が行われ、文化遺産の保護、持続可能な都市開発等に取り組むことを確認する「リュブリャナ宣言」が採択された。 そのほか、連盟事務局では、機関紙の発行や公式ウェブサイトによる情報発信等を行った。	継続	19,084	1	再掲
		京都・西安友好都市提携50周年記念事業	通年	西安市との友好都市提携50周年を記念し、京都市及び西安市において、様々な記念事業を実施した。 京都市内では、京都国際マンガミュージアムの協力のもと、中国にゆかりのある漫画や西安を紹介するパネルを通して、市民に西安を知っていただく展示「マンガで学ぶ友好都市・西安」を実施するとともに、中国の伝統的な音楽や歴史文化などを体験できるイベント「西安デー～中国の春節を体感しよう!～」を開催した。 また、西安市内では、京都市代表団の訪問に合わせて、京都の伝統産業の魅力を発信するイベント「西安京都フェア」や、京都の魅力を紹介し、京都・日本への留学や観光・就職等での来訪を促進するためのセミナー「ようこそ、京都へ!おこしやすセミナー」、さらには両市の青少年交流等の記念事業を実施した。	新規	9,368	1.3	再掲
	姉妹都市とのマラソンを通じた交流	マラソン開催時	姉妹都市交流の促進につなげることを目的とし、本市の姉妹都市であるケルン市からの申し出を受けて、ケルンマラソンの姉妹都市ランナー枠(エントリーフィー無料)として、参加いただけた市民の方を募集した。(申込者なし)	継続	—			
	総合政策室 SDGs推進担当	京都世界水大賞2024	令和5年6月～令和6年5月(6月～募集、11月～審査、現地時間令和6年5月25日授賞式)	京都市、世界水会議(World Water Council: WWC)及び特定非営利活動法人日本水フォーラムが共催し、途上国の水問題解決に向けて優れた活動を続ける草の根団体を顕彰する国際的な賞、概ね3年に1度開催される国際会議「世界水フォーラム」に併せて授与を行う。	継続	—		
	人口戦略室 京都創生担当	海外に向けた「京都創生」の展開	通年	・MICEの機会を通じた取組の周知 ・海外経営者層等富裕層の入浴機会を捉えた直接営業 ・インバウンド客が利用する市内施設での取組の周知 ・Webサイト「Preserve Kyoto」の公開(R6.3) ・Preserve Kyoto Giftを通じた寄付受入の開始(R6.9) ・インバウンド層を主なターゲットとしたプロモーション ・デジタルノマド誘致に向けた研究	継続	2,500	1	再掲
		グローバル都市WGの開催	通年	本市におけるグローバル都市実現に向けた「チャレンジ」や、各局で実施しているグローバルな繋がりを活用・連携・連動させ実施することで、その効果を最大限に発揮し、海外から人・企業・資金等呼び込むことができる都市を目指す。 ・デジタルノマド勉強会の開催(R6.11月)	継続	—	1	再掲
	環境政策局	地球温暖化対策室	イクレイ等のネットワーク組織と連携した国際発信	通年	持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組む国際的な自治体ネットワーク組織「イクレイ-持続可能な都市と地域をめぐす自治体協議会」に加盟し、国内外の自治体との連携を図っている。(※京都市長がイクレイ東アジア地域理事会の議長を務めるとともに、イクレイ日本に本市職員を1名派遣) 地球規模での温暖化対策を促進するため、令和6年度はイクレイ世界大会をはじめとした国際会議において、本市の取組を広く発信した(令和6年6月)。	継続	3,295	
「JICA草の根技術協力事業」を通じたマレーシア・ジョホールバル市への環境教育支援(都市間連携の推進)			通年	「ASEANのモデルとなる低炭素社会実現に向けた人材育成とネットワーク拠点の機能強化プロジェクト」を実施(令和3年10月～令和7年1月:3年3ヵ月)。令和5年2月、京エコロジーセンターをモデルとした環境学習拠点がジョホールバル市に開設された。 令和6年度は、本プロジェクトの最終成果報告会をマレーシア及び京都で開催し、市民や関係者等の参加者との成果共有を行った(令和6年11月、ジョホールバル市内、12月、京都市内)	継続	—		

(国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況)

国際都市像2 海外都市との連携が強まり、国際社会に貢献するまち

局区	担当課	事業名	令和6年度取組状況				その他関連する国際都市像	備考
			実施時期	概要	新規・充実・継続	R6年度予算額(千円)		
文化市民局	文化芸術企画課	東アジア文化都市交流事業	通年	日中韓文化大臣会合が国立京都国際会館で行われ、2025年・2026年の東アジア文化都市が選定された。また、日中韓文化大臣会合に付随した事業として、ロームシアター京都にて日中韓芸術祭が行われた。 創造都市ネットワーク日本国際ネットワーク部会において、東アジア文化都市の取組について、都市間での情報共有を行った。	継続	—	1,3	再掲
		京都国際舞台芸術祭 (KYOTO EXPERIMENT)	令和6年10月5日～10月27日	京都・日本そして世界の舞台芸術を紹介することを目的に、平成22年度から京都市内で開催している舞台芸術祭。 世界各地の「EXPERIMENT(エクスペリメント)=実験」的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を新しい形の対話でつなぐことを目指している。 次年度も世界各国からアーティストを招聘する。	継続	28,000	1,3,4	再掲
		京都芸術センター事業	通年	京都芸術センターは、京都における文化芸術の総合的な振興を目的として設置され、国内外の文化施設や文化芸術団体と連携した事業の実施や、外国の文化機関とのネットワーク強化に取り組む。また、多様な芸術に関する活動を支援し、芸術に関する情報を広く発信するとともに、国際文化交流・人的交流のハブとして、国内外のアーティストの滞在制作支援事業などを実施する。	継続	127,228	1,3,4	・再掲 予算額は、京都芸術センターの運営に係る指定管理料。
		KYOTOGRAPHIE(京都国際写真祭)	令和6年4月13日～5月12日	京都を舞台とした国際的な写真祭「KYOTOGRAPHIE(京都国際写真祭)」を本市共催により開催(主催：一般社団法人KYOTOGRAPHIE)。京都の歴史的建築物などを会場(市内十数か所)とし、選りすぐりの国内外写真家による展覧会等を実施した。	継続	—	1	再掲
	美術館	各種展覧会の開催	展覧会により異なる	○パリ ポンピドゥーセンター キュビズム展—美の革命 ピカソ、ブラックからドローネー、シャガールへ(令和6年3月20日～7月7日) ○モネ 睡蓮のとき(令和7年3月7日～6月8日) ○Gucci Cosmos(10月1日～12月1日)	充実	—		共催展であるため本市からの出資はなし。
市民スポーツ振興室	京都マラソン2025	令和7年2月16日	国内外から広くランナーを募集するとともに、多言語サイトの作成、語学ボランティアの配置、多言語で案内サインを設置し、おこしやす広場をはじめ、大会を通じて京都の文化の発信に取り組む。	継続	162,000			
産業観光局	産業イノベーション推進室	京都スタートアップ・エコシステム推進プロジェクト	通年(令和3年度～)	○京都のスタートアップ・エコシステム等を国内外のスタートアップや投資家等に発信するとともに、オール京都及び京阪神間の連携により、京都のスタートアップの技術・アイデアを発表できる場を定期的に創出し、資金調達や販路開拓等を支援 ・京都スタートアップ・エコシステムWEBサイトの充実 ・「INS KYOTO 2024」へ実行委員会として参画 令和6年7月2日～4日 ○スタートアップの人財確保を支援するため、スタートアップと学生・留学生との交流の場を創出 ・留学生とスタートアップ・地域企業等との交流会 令和7年2月27日(予定) ○スタートアップビザ制度(国家戦略特別区域外国人創業活動促進事業)を活用し、留学生を含む外国人材による起業活動を支援 ・確認証明書発行件数 R6:7件 累計:33件(R6.12月末時点) ・窓口相談件数 R6:145件 累計:586件(R6.12月末時点)	充実	75,800	1	・再掲 予算額は、プロジェクト全体の予算額であり、全てが海外展開・情報発信等に係るものではない。
	観光MICE推進室	持続可能なインバウンド観光促進事業	通年	外国人観光客が増加するなか、京都観光モラルや観光マナーの周知啓発、インバウンド受入環境の再整備やプロモーションの実施等に取り組む。地域経済の活性化を図るとともに、市民生活と調和した持続可能な観光を推進している。	継続	40,500	1	再掲
		サステナブルMICE都市形成事業	通年	脱炭素や地域貢献等に資する活動に対する補助制度において、SDGsに貢献するMICEの開催・誘致に取り組むとともに、MICE商談会の開催や出展を通じて、国際的なMICE誘致ネットワークの構築を図っている。	継続	25,000	1	再掲
	観光MICE推進室	京都観光オフィシャルサイトの運営	通年	京都観光オフィシャルサイトを運用し、国内外の観光客に向けて、魅力的なコンテンツはもとより、京都観光モラル、入浴前からのマナー啓発、観光客の分散化、災害・防災行動情報など、京都観光に資する情報の発信を行っている。	継続	62,200	1	再掲
		メディア等を通じた国内外向け情報発信等	通年	海外情報発信・収集拠点(全6箇所)(台北、シドニー、パリ、ロンドン、ロサンゼルス、ニューヨーク)を設置して海外市場に合わせたきめ細やかなプロモーションを実施するほか、映画・ドラマの撮影支援等の国内外のメディア支援を行うことにより、世界における京都のメディア露出の増加に努めている。	継続	35,116	1	再掲
		京都文化交流コンベンションビューロー補助金	通年	MICE京都ブランドの一層の磨き上げや競争力強化を図るため、積極的な誘致活動や、誘致・開催を支援する助成金・補助金制度の活用等を通じて、MICEの振興に繋げている。	継続	101,545	1	再掲
		京都市認定ガイド制度の運営	通年	外国人観光客へのサービスの向上と通訳ガイドの活躍の場を充実させるため、これまでに育成したガイドに対して、必要な知識や技術を学ぶ研修を実施している。また、外国人観光客が増加する中、ガイドの人数を一定確保するために、新規募集(第7期生)を行った。	継続	24,950	1	再掲
		市民生活と調和した持続可能な観光促進に向けた海外プロモーション強化事業	通年	市民生活と調和した持続可能な観光の実現に向けては、観光課題対策等の本市が政策として伝えたい情報をより一層効果的に発信する必要があるため、令和6年度に新たに設置した中国(上海)拠点を含め、7つの海外情報発信・収集拠点や海外有カメディア、海外インフルエンサーを通して、効果的な情報発信を行い、海外向け観光プロモーションの強化に取り組んでいる。	新規	41,800	1	再掲

(国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況)

国際都市像2 海外都市との連携が強まり、国際社会に貢献するまち

局区	担当課	事業名	令和6年度取組状況				その他関連する国際都市像	備考
			実施時期	概要	新規・充実・継続	R6年度予算額(千円)		
都市計画局	まち再生・創造推進室	ワールド・モニュメント財団との連携による京町家再生プロジェクトの実施	通年	令和6年度はワールド・モニュメント財団の稲垣光彦日本代表に、京町家再生プロジェクトや財団の活動について、京町家等継承ネット10周年記念特別講演会(R6.11.20)にて講演いただいた。	継続	300		
教育委員会	学校指導課(初等中学校教育担当)	姉妹都市との交流	令和6年9月25～29日	<ul style="list-style-type: none"> ○姉妹都市交歓作品展 ・市立幼稚園・学校の園児・児童・生徒の作品及び姉妹都市の子どもたちの作品約2,600点を一堂に展示する「京都市幼児・児童・生徒作品展及び姉妹都市交歓作品展」を開催。 ・作品展終了後、本市の出品作品のうち約200点を姉妹都市に交歓作品として贈呈。 ・令和6年度は姉妹都市提携が、西安と50周年。 	継続	793	3	

(国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況)

国際都市像3 ささまざまな世代で国際交流や多文化共生の意識が高まり、国際感覚をもった人が育つまち

局区	担当課	事業名	令和6年度取組状況				その他関連する国際都市像	備考
			実施時期	概要	新規・充実・継続	R6年度予算額(千円)		
総合企画局	国際交流・共生推進室	京都・西安友好都市提携50周年記念事業	通年	西安市との友好都市提携50周年を記念し、京都市及び西安市において、様々な記念事業を実施した。 京都市内では、京都国際マンガミュージアムの協力のもと、中国にゆかりのある漫画や西安を紹介するパネルを通じて、市民に西安市を知っていただく展示「マンガで学ぶ友好都市・西安」を実施するとともに、中国の伝統的な音楽や歴史文化などを体験できるイベント「西安テイ〜中国の春節を体感しよう!〜」を開催した。 また、西安市内では、京都市代表団の訪問に合わせて、京都の伝統産業の魅力を発信するイベント「西安京都フェア」や、京都の魅力を紹介し、京都・日本への留学や観光・就職等での来訪を促進するためのセミナー「ようこそ、京都へ! おこしやすセミナー」、さらには両市の青少年交流等の記念事業を実施した。	新規	9,368	1.2	再掲
		京都市国際交流・多文化共生審議会の開催	第1回: 令和6年10月4日 第2回: 令和7年2月14日	今年度第1回審議会では、今年度の国際交流・多文化共生関連事業の実施予定等について市から報告するとともに、今期(令和6年度~8年度)のテーマ(①国際交流に係るテーマ:「市民・民間主体の国際交流の裾野の拡大と担い手の育成」、②多文化共生に係るテーマ:「外国籍市民等の地域コミュニティへの参画と、多文化共生の担い手の育成」)に基づき、ゲストスピーカー2名による事例紹介などを踏まえ、委員に議論いただいた。第2回では、市から今年度事業の取組状況等を報告するとともに、今期テーマに基づく、市に対する提言案について議論いただく予定。	継続	249	1.2.4	再掲
		国際交流会館管理運営(指定管理)	通年	京都市国際交流会館では、市民レベルの国際交流や多文化共生を推進するための各種事業を実施しているほか、各種活動の場として広く市民に活用されている。 【令和6年度の来館者数】約19万人(令和6年12月末現在) 1 市民への情報提供・相談事業 ホームページやメールマガジン等を活用した情報発信、「京都市外国籍市民総合相談窓口」の運営(「行政書士による出入国管理手続き相談」、「外国人のためのカウンセリング・ガイド」、「生活相談」など) 2 国際交流団体等との連携事業(「kokoka国際交流団体ねっと」の運営など) 3 共生社会を促進していくための担い手育成事業(ボランティア活動育成事業など) 4 異文化理解・多文化共生社会への促進事業(kokokaオープンデイ、やさしい日本語講座など) 5 留学生への支援、留学生との協働・交流事業(京都留学生情報サイトなど) 6 広報・出版・広告事業(イベントカレンダーの発行など) 7 姉妹都市コーナー・展示室の運営	継続	178,693	4	【指定管理者】公益財団法人京都市国際交流協会 【指定管理期間】平成18年度~上記団体を指定管理者に選定。
文化市民局	文化芸術企画課	東アジア文化都市交流事業	通年	日中韓文化大臣会合が国立京都国際会館で行われ、2025年・2026年の東アジア文化都市が選定された。また、日中韓文化大臣会合に付随した事業として、ロームシアター京都にて日中韓芸術祭が行われた。 創造都市ネットワーク日本 国際ネットワーク部会において、東アジア文化都市の取組について、都市間での情報共有を行った。	継続	—	1.2	再掲
		京都国際舞台芸術祭(KYOTO EXPERIMENT)	令和6年10月5日~10月27日	京都・日本そして世界の舞台芸術を紹介することを目的に、平成22年度から京都市内で開催している舞台芸術祭。 世界各地の「EXPERIMENT(エクスペリメント)=実験」的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を新しい形の対話でつなぐことを目指している。 次年度も世界各国からアーティストを招聘する。	継続	28,000	1.2.4	再掲
		京都芸術センター事業	通年	京都芸術センターは、京都における文化芸術の総合的な振興を目的として設置され、国内外の文化施設や文化芸術団体と連携した事業の実施や、外国の文化機関とのネットワーク強化に取り組み。また、多様な芸術に関する活動を支援し、芸術に関する情報を広く発信するとともに、国際文化交流・人的交流のハブとして、国内外のアーティストの滞在制作支援事業などを実施する。	継続	127,228	1.2.4	*再掲 予算の額は、京都芸術センターの運営に係る指定管理料。
		文化芸術による共生社会実現に向けた基盤づくり事業	通年	文化芸術により社会課題や困難の緩和につなげ、共生社会(誰もが互いに人格と個性を尊重し、支え合い、人々の多様な在り方を認め合える社会)を実現するための基盤をつくる。芸術家等が社会課題へアプローチする際や、福祉施設等が文化芸術の取組に着手しようとする際の相談に対応する「Social Work / Art Conference(SW/AC)」の実施や東九条地域における文化芸術活動の支援などにより、社会課題や困難の緩和につなげ、文化芸術による共生社会の実現に向けた基盤づくりに取り組んでいる。 また、これらの取組を継続しながら、令和6年度は芸術家や文化芸術関係者、地域住民や市民をつなげる拠点であるHAPS HOUSEにおいて学生や若手芸術家の展覧会「Enjoy Exhibition Club」の実施や、本事業をはじめとするHAPS事業の発信を強化するパンフレット作成など、HAPS HOUSEの拠点機能の充実を図っている。	充実	18,050		
		京都の若者が世界の多彩な才能と交流する仕組みづくり	通年	海外からクリエイティブな人材を京都に呼び込み、地域とつなげることによって、知的交流を促す仕組みをつくるためのモデル事業を実施した。 既存の取組をリサーチし、アーティスト・イン・レジデンスの実績のある施設等のネットワークを形成するとともに、ノウハウ等が不足している施設等をネットワークによりサポートし、受け入れを促すためのミートアップ等を開催した。	新規	17,000	1.4	再掲
上京区	地域力推進室まじわり推進担当	留学生や外国籍市民の地域事業への参加促進	実施できず	なし (上京区民ふれあいまつり2024に同志社大学の留学生に参画いただく予定で進めていたが、衆議院選挙の投票日と重なり開催中止となったため、実施できなかった)	新規	100		
人事委員会事務局	—	京都市職員採用試験(青年海外協力隊等活動経験者)	令和6年11月	経験者試験に統合し実施した。(経験要件に、海外協力隊等における活動経験(2年以上)を含むこととした)	継続	—		
上下水道局	経営戦略室	JICA課題別研修「上水道施設技術総合」の受入れ	令和6年11月6、7日	JICA課題別研修「上水道施設技術総合(水道基本計画設計A)」を、日本水道協会主催により実施。 日本水道協会からの依頼に応じて、本市水道事業の概要・歴史、水道事業の広報や管路管理に関する講義を行うとともに、瀧上浄水場及び水質管理センターの視察を受け入れた。	継続	—		
		JICA課題別研修「都市上水道維持管理」の受入れ	令和6年6~7月	JICA課題別研修「都市上水道維持管理(浄水・水質A)」を、大阪市水道局との共同により、約1か月間実施した。 海外研修生の課題に対して個別に聞き取ったうえでコンサルテーションを行うなど、研修生のアクションプラン作成に向けたサポートを行った。またプログラムの一環として、瀧上浄水場の視察研修も行った。	継続	—		

(国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況)

国際都市像3 ささまざまな世代で国際交流や多文化共生の意識が高まり、国際感覚をもった人が育つまち

局区	担当課	事業名	令和6年度取組状況			新規・充実・継続	R6年度予算額(千円)	その他関連する国際都市像	備考
			実施時期	概要					
教育委員会	学校指導課 (初等中学校教育担当、高校担当)	英語教育・国際交流の推進	通年	子どもたちが実践的な英語力を身につけることができるよう、小学校で日常的に英語に触れるための取組、中高校生の英検受検料補助、高校での修学旅行等や海外姉妹校との相互交流、GTECの活用に取り組んだ。 また令和6年度から海外での「京都市立高校グローバルリーダー育成研修」を再開し、多様な文化や価値観に触れる経験を通して、グローバル人材としての素地を育む。	継続	39,963			
	学校指導課 (初等中学校教育担当)	外国語指導助手(ALT)の活用促進と教員の実践的英語力の養成	通年	小学校外国語活動の早期化・教科化に伴う授業時数増や中・高等学校での授業改善による高度な実践的英語力の育成(英語4技能の総合的な育成など)に向け、ALT(外国語指導助手)の計画的な配置や教職員研修の充実等により、指導力の向上を図った。	継続	ALT 13,928千円(事務 局費) 298,923千円 (人件費)			
		姉妹都市との交流	令和6年9月25～ 29日	○姉妹都市交歓作品展 ・市立幼稚園・学校の園児・児童・生徒の作品及び姉妹都市の子どもたちの作品約2,600点を一堂に展示する「京都市幼児・児童・生徒作品展及び姉妹都市交歓作品展」を開催。 ・作品展終了後、本市の出品作品のうち約200点を姉妹都市に交歓作品として贈呈。 ・令和6年度は姉妹都市提携が、西安と50周年。	継続	793	2	再掲	
	体育健康教育室	諸外国の食文化の体験	通年	諸外国の料理や様々な調理方法による献立を提供することで、食に対する理解を深めていく取組を実施した。	継続	—			
	生涯学習部 施設運営担当	京都市図書館での英語多読図書等の貸出、外国語絵本の読み聞かせ等	通年	京都市図書館では、英語をはじめとした諸外国言語の資料を所蔵し、貸出を行っている。また、醍醐中央・岩倉・山科・吉祥院・久世ふれあいセンター・西京図書館では外国語絵本の読み聞かせ等の行事を開催した。	継続	—			

(国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況)

国際都市像4 多様性を生かしたまちづくりが進み、市民の生活が豊かになっているまち

局区	担当課	事業名	令和6年度取組状況				その他関連する国際都市像	備考
			実施時期	概要	新規・充実・継続	R6年度予算額(千円)		
総合企画局	国際交流・共生推進室	京都市国際交流・多文化共生審議会の開催	第1回: 令和6年10月4日 第2回: 令和7年2月14日	今年度第1回審議会では、今年度の国際交流・多文化共生関連事業の実施予定等について市から報告するとともに、今期(令和5年度～6年度)のテーマ(①国際交流に係るテーマ:「市民・民間主体の国際交流の裾野の拡大と担い手の育成」、②多文化共生に係るテーマ:「外国籍市民等の地域コミュニティへの参画と、多文化共生の担い手の育成」)に基づき、ゲストスピーカー2名による事例紹介などを踏まえ、委員に議論いただいた。第2回では、市から今年度事業の取組状況等を報告するとともに、今期テーマに基づく、市に対する提言案について議論いただく予定。	継続	249	1.2.3	再掲
		医療通訳派遣事業	通年	医療機関に対して通訳者を派遣することにより、外国籍市民等が安心して医療サービスを受け、安全に暮らすことができるよう、言葉を中心としたサポートを行っている。 ・令和6年度利用件数(令和6年12月末現在):1,074件	継続	3,000	1	再掲
		地域・多文化交流ネットワーク促進事業	通年	多文化共生を推進する団体や外国人コミュニティ等への活動場所の提供、関係団体間の連携促進、外国籍市民等支援や異文化理解に関する事業(日本語教室や東九条春まつり)を実施している。	継続	9,900	1	再掲
		京都市外国籍市民総合相談窓口運営	通年	在留手続、雇用、医療、福祉、出産・子育て・子供の教育等の生活に係る適切な情報や相談場所に迅速に到達することができるよう、多言語による情報提供及び相談を行っている。 また、令和6年度から、本市ベトナム籍市民の増加に伴い、ベトナム語通訳相談者を新規雇用し、行政通訳相談体制を拡充するとともに、待遇面の課題から人員の確保が困難となっている英語・中国語の既存通訳相談者について、報酬水準を見直し、事業を安定的に運営する体制を確保した。 ・令和6年度相談件数(令和6年12月末現在):7,438件	充実	9,165	1	再掲
		災害時多言語電話通訳事業	通年	災害発生時、避難所の運営主体等が、日本語を話せない外国籍市民等が来られた際に対応できるように、多言語対応した専用の電話回線により通訳可能な体制を整えている。(避難所等の開設期間中、24時間利用可能)	継続	460	1	再掲
		国際交流会館管理運営(指定管理)	通年	京都市国際交流会館では、市民レベルの国際交流や多文化共生を推進するための各種事業を実施しているほか、各種活動の場として広く市民に活用されている。 【令和6年度の来館者数】約19万人(令和6年12月末現在) 1 市民への情報提供・相談事業 ホームページやメールマガジン等を活用した情報発信、「京都市外国籍市民総合相談窓口」の運営(行政書士による出入国管理手続き相談)、「外国人のためのカウンセリング・デイ」、「生活相談」など 2 国際交流団体等との連携事業(「kokoka国際交流団体ねっと」の運営など) 3 共生社会を促進していくための担い手育成事業(ボランティア活動育成事業など) 4 異文化理解・多文化共生社会への促進事業(kokokaオープンデイ、やさしい日本語講座など) 5 留学生への支援、留学生との協働・交流事業(京都留学生情報サイトなど) 6 広報・出版・広告事業(イベントカレンダーの発行など) 7 姉妹都市コーナー・展示室の運営	継続	178,693	3	・再掲 【指定管理者】 公益財団法人京都市国際交流協会 【指定管理期間】 平成18年度～上記団体を指定管理者に選定。
京都市におけるkokoka日本語教育推進事業	通年	京都市国際交流会館の指定管理者である、京都市国際交流協会が文部科学省の補助金を受け、オンライン学習や日本語学習支援者をはじめとする担い手育成などを実施しており、本市も協会や関係機関と連携し、京都府域における日本語教育を推進している。 ・令和6年度実績(令和6年12月現在):ボランティアによる日本語教室8,139人 オンラインにほんご670人	継続	—				
行財政局	防災危機管理室	京都市防災ポータルサイト多言語発信	通年 (令和3年度～)	京都市防災ポータルサイトを多言語での自動翻訳機能で運用している。	継続	5,254		システム全体の保守費用(多言語部分のみ算出できない)

(国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況)

国際都市像4 多様性を生かしたまちづくりが進み、市民の生活が豊かになっているまち

局区	担当課	事業名	令和6年度取組状況				その他関連する国際都市像	備考
			実施時期	概要	新規・充実・継続	R6年度予算額(千円)		
地域自治推進室		テレビ電話型翻訳タブレットを活用した区役所・支所における窓口サービスの充実	通年(令和2年5月1日～)	本市で暮らす外国籍市民の方が、転入・転出、医療、子育て等に係る各種手続きや市民生活相談で、区役所・支所を訪れた際に、窓口で多言語での対応ができるよう、各区役所・支所のタブレット端末に、テレビ電話型翻訳サービスを導入する。 ※対応言語:17言語(英語、韓国語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語、フィリピン語、インドネシア語、スペイン語、ヒンディー語、タイ語、フランス語、ロシア語、中国語、クメール語、ミャンマー語、ウクライナ語、マレー語)	継続	1,200		
		字幕表示システムの導入	通年(令和6年3月26日～)	高齢者、聴覚障害のある方及び外国籍の方等とのコミュニケーションの円滑化に向け、話した言葉がスクリーンに表示される字幕表示システム「Cotopat(コトパット)」を、全区役所・支所に導入。 双方向の翻訳表示にも対応し、日本語⇒外国語は134言語、外国語⇒日本語は73言語に対応。	継続	5,000		
		区役所庁舎案内表示のデジタル化	通年(令和6年10月15日～)	各区役所・支所に、「区役所に来たけど、どこの窓口で手続きをしたらいいかわからない」といった際、簡単な操作でスムーズに目的の窓口へ案内するシステムを導入。日本語、英語、中国語(繁体・簡体)、韓国語の表示が可能。	新規	18,500		
文化市民局	美術館	展示の多言語表記	通年	当館の常設展であるコレクションルームでの展示作品について、英語表記でのキャプションや作品リストを作成。	継続	2,760		
		多言語版音声ガイド	通年	コレクションルーム出品作品について、英語・中国語・韓国語での解説音声ガイドを作成し、運用。	継続	3,300		
		多言語版パンフレット	通年	館内案内パンフレットを英語・中国語・韓国語表記で作成・配架。	継続	—		リニューアル当初に作成したものを配架しているため、R6年度予算額は0。
文化芸術企画課		京都国際舞台芸術祭(KYOTO EXPERIMENT)	令和6年10月5日～10月27日	京都・日本そして世界の舞台芸術を紹介することを目的に、平成22年度から京都市内で開催している舞台芸術祭。 世界各地の「EXPERIMENT(エクスペリメント)=実験」的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を新しい形の対話でつなぐことを目指している。 次年度も世界各国からアーティストを招聘する。	継続	28,000	1.2.3	再掲
		京都芸術センター事業	通年	京都芸術センターは、京都における文化芸術の総合的な振興を目的として設置され、国内外の文化施設や文化芸術団体と連携した事業の実施や、外国の文化機関とのネットワーク強化に取り組む。また、多様な芸術に関する活動を支援し、芸術に関する情報を広く発信するとともに、国際文化交流・人的交流のハブとして、国内外のアーティストの滞在制作支援事業などを実施する。	継続	127,228	1.2.3	・再掲 予算額は、京都芸術センターの運営に係る指定管理料
		京都の若者が世界の多彩な才能と交流する仕組みづくり	通年	海外からクリエイティブな人材を京都に呼び込み、地域とつなげることによって、知的交流を促す仕組みをつくるためのモデル事業を実施した。 既存の取組をリサーチし、アーティスト・イン・レジデンスの実績のある施設等のネットワークを形成するとともに、ノウハウ等が不足して躊躇している施設等をネットワークによりサポートし、受け入れを促すためのミートアップ等を開催した。	新規	17,000	1.3	再掲
保健福祉局	介護ケア推進課	高齢者外国籍市民福祉給付金	通年	昭和61年4月1日の基礎年金制度発足時に既に60歳に到達していたことにより、国民年金を受給していない在日外国籍市民(帰化した者を含む。)に対して、国が制度化を図るまでの過渡的な施策として、福祉給付金を支給する。	継続	2,040		
		高齢・障害外国籍市民福祉サービス利用サポート助成	通年	日常生活における不安や悩みの解消を図るため、外国籍市民等を対象とした訪問・支援活動等により、福祉サービスの利用支援等を行う京都外国人高齢者・障害者生活支援ネットワーク・モアに対して助成金を交付する。	継続	1,120		
		外国人介護人材受入支援事業	令和7年1月～2月	外国人介護人材が市内の介護現場において円滑に就労・定着できるよう、介護技能向上のための集合研修の実施に対する支援を行う。	継続	1,625		
子ども若者はくみ局	育成推進課	外国籍市民等を対象とした日本語教室の開講	通年	伏見青少年活動センターにおいて、青少年ボランティアによる日本語を母語としない人々を対象とした「にほんご教室」を開講(平成14年度～)	継続	指定管理料の一部で実施		
消防局	警防部救急課	日本語を介してのコミュニケーションが困難な方に対する救急現場対応ツールの活用	通年	・救急現場で使用頻度が高い会話内容を定型文登録している多言語音声翻訳アプリ「救急ボイストラ」を活用 ・外国人傷病者等からの問診及び情報収集をより円滑にするため、8か国語の多言語シート(英語、中国語[簡体字]、韓国語、朝鮮語、スペイン語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、中国語[繁体字])を活用	継続	—		
	警防部情報指令課	多言語通訳体制の確保	通年	日本語を介してのコミュニケーションが困難な方に対し、119番通報時や災害現場活動時において5か国語通訳サービス(英語、中国語、韓国語・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語)の実施を行った。	継続	924		
	予防部予防課	外国籍市民等に対する防災啓発の推進	通年	外国籍市民等の防火防災啓発のため、多言語リーフレット(日本語・英語・中国語・韓国語の4か国語)を作成し、各区役所、消防署、国際交流会館等を通じて外国籍市民等に配布。	継続	130		

(国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況)

国際都市像4 多様性を生かしたまちづくりが進み、市民の生活が豊かになっているまち

局区	担当課	事業名	令和6年度取組状況				その他関連する国際都市像	備考
			実施時期	概要	新規・充実・継続	R6年度予算額(千円)		
交通局	企画総務部 企画調査課	多言語対応のスマートフォン・タブレット用HPの運用	通年	4か国語(日・英・中・韓)対応のスマートフォン・タブレット用HP「京都市バス・地下鉄ガイド」の運用	継続	511		
	企画総務部 営業推進課	「地下鉄・バスなび」の制作	通年	外国人観光客向けに、主な観光地へのアクセス早見表や地下鉄・市バスの乗り方などを掲載した市バス・地下鉄の路線図を3か国語(英語、中国語(簡体字)、韓国語)で制作	継続	8,520		
		多言語電話通訳サービス	通年	外国人観光客との意思疎通をスムーズにし、的確に案内ができるよう、京都市観光協会・公益財団法人京都文化交流コンベンションヒーローが実施している電話による外国語通訳及び通訳サービスを案内所・定期券発売所において提供 令和6年度も引き続き実施	継続	—		
		コミュニケーションボード及びタブレット端末の配備	通年	交通案内や忘れ物などの問合せに対し案内文とイラストを記載した、日・英・中・韓対応の「コミュニケーションボード」を案内所に配備 観光案内、周辺施設や運行状況の案内等、外国人観光客へのわかりやすいご案内ができるようタブレット端末を案内所及び一部定期券発売所に配備	継続	559		
		外国語等による情報提供の充実	通年	次の停留所名を案内する「次は(停留所名)表示」及び次の停留所に停車することを案内する「つき止まります」の表示の4か国語(日・英・中・韓)対応を実施 令和6年6月1日からは、観光特急バスにおける車内案内モニター及び車内放送案内の4か国語(日・英・中・韓)対応を実施	継続	—		
	自動車部運輸課	災害時等における外国語等による情報提供	通年	災害時、緊急時等にバス車内で掲示する運行情報等の案内文を、4か国語(日・英・中・韓)表記	継続	—		
		外国語のコミュニケーションボードの用意	通年	市バスの運賃や支払方法といった御利用方法などの基本的な案内文とイラストを記載した、日・英・中・韓対応の「コミュニケーションボード」を作成し、市バス車両に配備(令和6年度は令和6年6月と令和7年3月の運転計画時、令和6年12月の運賃箱を釣銭方式へ変更時に更新)	継続	378		
		外国語等による情報提供の充実	通年	外国人旅客とより円滑にコミュニケーションを図るため、全駅に「自動翻訳付きタブレット」を配備。さらに、多言語対応小型通訳機をお客様の御利用の多い5駅に追加で配備済 JIS規格に対応したピクトグラムによる駅構内の案内表示を掲出するとともに、駅ナンバリング表示を導入し、外国人の方にも分かりやすい表示を実施	継続	3,140		
	高速鉄道部運輸課	災害時等における外国語等による情報提供	通年	災害時等における運行情報を外国人旅客の方にも分かるよう、多言語(日・英・中・韓)での案内文を駅構内に掲示 車内に交通局ホームページへ誘導する二次元コードを貼付し、運行情報を提供	継続	—		
		外国語等による情報提供の充実	通年	地下鉄車両の車内案内表示装置及び行先表示装置の4か国語対応(日・英・中・韓) 令和元年度 : 烏丸線完了(新型車両へ更新予定の9編成を除く) 令和2年度 : 東西線完了 令和3～5年度 : 烏丸線新型車両5編成の更新完了 令和6年度 : 烏丸線新型車両2編成の更新	継続	78,884		
	高速鉄道部 電気課	外国語等による情報提供の充実	通年	地下鉄烏丸線全15駅のホームに設置されている列車案内表示器を4か国語(日・英・中・韓)表示が可能な機器に更新(令和5年12月完了)。改札口付近にも4か国語(日・英・中・韓)表示が可能な列車案内表示器を設置(竹田駅を除く)。	継続	—		
	上下水道局	総務部 お客さまサービス推進室	外国語のコミュニケーションボードの用意	通年	各営業所・お客さま窓口サービスコーナーにおいて、外国から京都市内に転居されたお客さまの来所目的等を確認するために、外国語のコミュニケーションボード(英語、韓国語、中国語)を用意する。	継続	—	
			各種申込用紙に係る英語版記入例の用意	通年	各営業所・お客さま窓口サービスコーナーにおいて、外国人のお客さまとの対応方法を充実するため、英語版の記入例を用意する。	継続	—	
多言語電話通訳サービス			通年	各営業所・お客さま窓口サービスコーナーにおいて、外国人のお客さまからの電話に対し、お客さま、職員、通訳者(英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語等)の3者が同時に会話をを行う。また、窓口に来庁されたお客さまには、電話機のスピーカー機能等を活用して通訳者を交えた対応を行う。	継続	200		
水道部 漏水事務所 水道部 蹴上浄水場 水道部 松ヶ崎浄水場 水道部 新山科浄水場		パンフレット等の外国語対応	通年	上下水道局が発行・印刷する外国語対応のパンフレット作製の実施【パンフレット等】 京の水道 蹴上浄水場: 英語 京の水道 松ヶ崎浄水場: 英語 京の水道 新山科浄水場: 英語	継続	—		
下水道部 鳥羽水環境保全センター及び同吉祥院支所		パンフレット等の外国語対応	通年	上下水道局が発行・印刷するパンフレット等について、外国語対応を行っている。【パンフレット等】 鳥羽水環境保全センター概要: 英語 鳥羽水環境保全センター吉祥院支所: 英語	継続	—		

(国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況)

国際都市像4 多様性を生かしたまちづくりが進み、市民の生活が豊かになっているまち

局区	担当課	事業名	令和6年度取組状況				その他関連する国際都市像	備考
			実施時期	概要	新規・充実・継続	R6年度予算額(千円)		
教育委員会	学校指導課 (人権教育担当)	留学生による母語支援活動	通年 (平成27年度～)	市立小・中学校において、来日間もない帰国・外国人児童生徒等の母語支援活動に留学生の参加を進めることで、留学生を受け入れ、留学生の活躍の場を広げるとともに、当該児童生徒が安心して日本の学校生活に適應していけるような学習環境の充実を図る。	継続	1,332		
		多文化が息づくまちづくりに向けた日本語指導体制等の充実	継続	日本語の理解が十分でない外国にルーツをもつ児童生徒等の増加傾向をふまえて、受入時に迅速かつ的確に対応できる新たな体制として、日本語指導担当教員の派遣等の総合的な支援を行うサポート校を設置し、外国にルーツをもつ児童生徒の受け入れを進めている。その体制のもと、日本語初期集中指導教室「わかば」の設置や巡回指導を担当する教員、母語による学校生活の適應促進や通訳等の主に言語面の支援を行う母語支援員を配置して一層の充実を図る。	継続	24,504		
		教育や子育てに関する情報の多言語化の推進	継続	日本語を母語としない就学前の子どもの保護者に対し、小学校生活についての必要な情報等を確実に伝えるために、必要事項を多言語で記載したリーフレットを配布する。 また、令和2年度からは、日本語を母語としない保護者に対して、多言語による「小学校生活 親子オリエンテーション」を新たに実施し、日本の小学校生活や入学準備等について、小学校生活スタートガイドに加えて写真や実物を直接示す等、より効果的な手法で説明を行うと共に、家庭での母語保持の大切さについて伝える。	継続	760		
	青少年科学センター	プラネタリウムの解説の英語訳チラシの作成・配布	通年 (令和3年3月～)	日本語の理解が十分でない外国人来館者に対して、番組概要の理解の一助とするために、じっくり満喫プラネタリウムの番組概要について日英併記で解説したチラシを作成し、必要な方に配布することで、幅広い来館者のさらなる満足度向上を図る。	継続	—		